

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート名護やぶ(児童発達支援)

公表日 令和 8 年 2 月 27 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	活動内容に応じてテーブルを移動、児童が落ち着く空間も工夫している	活動内容によってスペースが足りないと感じる事がある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	3	0	活動に応じて職員配置を調整しているが丁寧に支援が行われるように業務の効率化を進めていきたい	人員配置基準は満たしているが、障害の特性に応じて、職員が足りないと感じる時がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	片づけがしやすいように絵カードや、写真を貼り、ルールを提示し可視化している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	日々の清掃、使った後の消毒や換気など心地良く過ごせる様にしている。必要に応じクールダウンできる場所を確保している	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	個別支援により適した環境整備をおこなっている。パーテーションを使い仕切りをするなど工夫している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	職員間で目標や振り返りを行い、共有し支援の見直しを行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者からの意見を把握し、業務改善に繋げている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	職員会議などで意見交換を行い、支援内容の改善に努めている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	必要に応じて業務改善を行っている。今後も評価の結果で支援の質の向上に繋げる	改善点などがあるときは迅速に話し合いをも対応する
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	外部研修や内部研修に参加して職員の研修内容を充実させていく	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	支援プログラムを作成し公表している。事業所内にも分かりやすく提示している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	アセスメントを基に子どもと保護者のニーズを踏まえた支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	職員間で共有しながら支援内容を検討している。	意見交換の機会を増やしていきたい。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	今後も定期的な見直しをおこなっていく。	計画に沿った支援をおこなえるように努める
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	行動観察や記録を通して、子どもの状況把握に努めている	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	児童発達ガイドラインを踏まえ、児童の状況に応じた支援内容を計画している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	職員間で相談しながら活動プログラムをたてている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	児童の興味や成長に応じて、活動内容を見直すようにしている	プログラムが固定しないように職員間で意見を出し合い内容を工夫、新しい活動も取り入れていく

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	児童の特性に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	支援前に職員での情報共有を行い役割分担をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	3	0	支援後に振り返りを行い、気づいた点を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	日々の支援内容を記録している。必要に応じて見直しを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリング（6ヶ月に1回）を行い計画書の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	必要に応じて会議に参加、児童の状況について情報共有している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	保育園や学校、関係機関と連携し、情報共有を行いながら支援している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	関係機関と情報共有を行いながら支援を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	就学に向けて、保護者や関係機関と連携し必要な情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	地域の子ども達との交流など、計画をたて、活動する機会を増やす	地域との交流の機会をもっと増やしていきたい	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	日々の様子を保護者などに伝え、子どもの成長や課題など共有している。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	家族支援を大切にし、必要に応じて情報共有、情報提供を行っている	情報共有、情報提供などを積極的に行っていく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	利用に関する説明など、保護者へ丁寧に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	支援計画作成時には、保護者の意向を確認しながら進めている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	支援計画の内容について、わかりやすく説明している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	家族からの相談に応じ、必要な助言や支援を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	今後、保護者同士の交流会が開けるようにしていく	父母会、保護者同士の交流の機会が設けられていない。人員不足、日々の業務におわれている為。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	相談や苦情に対して、体制を整えている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	2	活動内容や、連絡事項など連絡帳を通して発信している	活動予定表などは定期的に発信、急な連絡などはその都度発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報の取り扱いについて、職員で共有し十分に管理している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	子どもや、保護者の状況に応じた伝え方を心掛けている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	地域との関わりを大切にし、開かれた事業所運営を大切にしている。	地域の行事やイベントなどに参加するも、機会が少ない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	各種マニュアルを整備し、必要に応じた伝え方を心がけている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	非常時に備え、計画、確認、や訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	事前に子どもの健康状態を把握し、安全に配慮している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	指示に基づき対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画に基づき、安心して過ごせる環境作りを行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	安全に関する取り組みについて、保護者へ周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	日々の支援の中でヒヤリとした場面について職員間で共有し話し合っている	事例が発生した際には報告・連絡、振り返りを職員間で共有し再発防止に向け対策を行う。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	研修や振り返りの機会を定期的に行い、職員全体で意識する必要がある		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	やむを得ない場合の対応について、改めて確認し、保護者への説明や記録の整理をおこなっていく		